

成果と課題及び指導改善のポイント

小学校算数（小学4年生、小学5年生、小学6年生）

小学4年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)及び出題の趣旨

- ◇ 分類整理された表を読み取ることができる 設問3(1)
- ◇ 台形を理解している 設問4(2)
- ◆ 場面の状況から、宿題にかかる時間を基に、条件に合う時刻を考えることができる 設問1(1)
- ◆ 正三角形を敷き詰めてできた平行四辺形について説明することができる 設問4(1)

小学5年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)及び出題の趣旨

- ◇ 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解している 設問1(2)
- ◇ 折れ線グラフを読み取ることができる 設問2(1)
- ◆ 与えられた条件を基に筋道を立てて考え、フレンチソースを作るには、サラダ油が小さじ何杯分になるか、その求め方を説明することができる 設問3(2)
- ◆ 示された情報を基に、セット券を使ったときの代金を考えることができる 設問5(2)

小学6年生で成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)及び出題の趣旨

- ◇ 速さと道のりから、時間を求めることができる 設問2(1)
- ◇ 示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選んで、計算しやすい式にして計算できる 設問5(1)
- ◆ 示された情報を基に、数量の関係を捉え、天気が「晴れ時々くもり」になることについて説明することができる 設問1(3)
- ◆ 円の半径を2倍にすると、円の面積は何倍になるのかを考えることができる 設問4(2)

小学校算数の課題に対応した指導改善のポイント（☑していきましょう。）

- 筋道を立てて考えたり、数量の關係に着目したりする設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。
 - 問題を提示する場面では、児童が主体的に取り組み、解決に必要な数量を捉えることができるように、情報過多や情報不足の問題にするなど、工夫して提示している。
 - 示された情報を図や数直線や言葉にして表したり整理したりして数量の關係を的確に捉え、考えたことが明確になるような活動を設定している。
 - 式の根拠や求めた数は何を表しているのかを説明する対話活動を設定している。
 - 考えたことを説明する場面では、児童に何を説明させるかを明確にして、考えを言葉や図を用いて記述させたり説明させたりするようにしている。



正答表とセットになった「指導改善のポイントが分かる資料」も、併せてご覧ください。

集計結果

※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
県	7,080	53.4	6.6	48.8	

※ 県の結果には、「未履修：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
			県	県	県	県		
学習指導要領の 内容・領域等	数と計算	8	47.8	7.6	45.0			
	図形	4	53.8	7.5	50.0			
	測定・変化と関係	1	42.5	1.0	60.0	▼		
	データの活用	3	71.2	4.7	53.3			
評価の観点	知識・技能	8	68.3	5.3	56.3			
	思考・判断・表現	8	38.5	7.9	41.3	▼		
問題形式	選択式	2	63.7	1.5	55.0			
	短答式	9	59.7	5.3	55.6			
	記述式	5	37.8	11.1	34.0			

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等				評価の観点	問題形式	正答率		無解答率		期待正答率 (おおむね達成)	課題が見られる設問
		数と計算	図形	測定・変化と関係	データの活用			県	県	県	県		
1	(1)	場面の状況から、宿題にかかる時間を基に、条件に合う時刻を考えることができる		○		○	○	42.5	1.0	60	○		
1	(2)	場面と線分図を関連付けて、数量の関係を理解している	○			○	○	68.5	0.5	50			
1	(3)	()を用いた式の意味を読み取り、説明することができる	○			○	○	44.9	4.5	40			
2	(1)	直径の長さを基に、半径を求めて円を作図することができる	○			○	○	78.4	0.6	60			
2	(2)	メダル作りに必要な画用紙の枚数を求め、その求め方を説明することができる	○			○	○	30.8	12.9	30			
2	(3)	示された情報を基に、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる	○			○	○	49.1	2.4	50	○		
3	(1)①	分類整理された表を読み取ることができる		○		○	○	92.4	0.9	60			
3	(1)②	二次元表の合計欄に入る数を求めることができる		○		○	○	72.0	6.9	60			
3	(2)	示されたグラフから、2018年から2019年は、どの地区でも児童数が減り続けていることを説明することができる		○		○	○	49.2	6.3	40			
3	(3)	分数の意味や表し方を理解している	○			○	○	23.7	5.6	40	○		
4	(1)	正三角形を敷き詰めてできた平行四辺形について説明することができる	○			○	○	27.3	4.5	50	○		
4	(2)	台形を理解している	○			○	○	76.1	7.8	60			
4	(3)	正三角形を2枚使って作った形がひし形である理由を説明することができる	○			○	○	33.6	17.3	30			
5	(1)	除法を用いて、グループの人数を求めることができる	○			○	○	78.4	7.4	70			
5	(2)	示された情報を基に、除法のあまりの数に着目してどのグループになるかを考え、その理由を説明することができる	○			○	○	30.4	14.3	30			

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率（おおむね達成）	課題が見られる設問
		数と計算	図形	測定・変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式	県		県			
5	(3)	四則が混合した式の計算をすることができる										56.8		13.0	50		

集計結果

※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
県	6,944	51.8	4.6	49.3	

※ 県の結果には、「未履修：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
			県	県	県	県		
学習指導要領の 内容・領域等	数と計算	5	48.8	5.6	50.0	▼		
	図形	2	48.9	7.5	50.0	▼		
	測定・変化と関係	4	49.8	3.7	40.0			
	データの活用	6	45.6	5.6	48.3	▼		
評価の観点	知識・技能	7	66.7	2.5	57.1			
	思考・判断・表現	7	37.0	6.6	41.4	▼		
問題形式	選択式	2	47.6	0.5	45.0			
	短答式	8	61.9	3.8	57.5			
	記述式	4	33.9	8.2	35.0	▼		

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等				評価の観点 知識・技能 思考・判断・表現	問題形式			正答率		無解答率		期待正答率 (おおむね達成)	課題が見られる設問
		数と計算	図形	測定・変化と関係	データの活用		選択式	短答式	記述式	県	県				
1	(1) 加法と乗法の混合した式の計算ができる	○				○		○		67.2		0.1	60		
1	(2) 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解している		○			○		○		69.4		0.3	40		
1	(3) 示された情報を基に、単位量当たりの大きさや平均を用いて、判断した理由を説明することができる		○	○		○		○		26.7		5.0	30	○	
2	(1) 折れ線グラフを読み取ることができる			○		○		○		94.6		0.4	70		
2	(2) メモの情報が何を表しているのかをグラフから解釈し、それらを説明することができる			○		○		○		41.3		8.7	40		
2	(3) 仮の平均の求め方を解釈し、飛び離れた数値を除いた場合の仮の平均の求め方を判断することができる			○		○		○		25.9		0.7	50	○	
3	(1) 被乗数が小数の乗法の計算ができる	○				○		○		78.7		1.1	60		
3	(2) 与えられた条件を基に筋道を立てて考え、フレンチソースを作るには、サラダ油が小さじ何杯分になるか、その求め方を説明することができる		○			○		○		22.7		8.3	30	○	
3	(3) 条件に合った時刻を考えることができる		○			○		○		80.2		1.2	60		
4	(1) 合同を理解している		○			○		○		52.8		4.3	60	○	
4	(2) 分数の意味や表し方について理解している	○				○		○		36.2		4.2	50	○	
4	(3) 示された考え方を解釈し、それを用いて、ほかの場面の考え方を説明することができる	○	○			○		○		44.9		10.6	40		
5	(1) 二次元表に示された数値が表す意味を理解している			○		○		○		68.2		7.2	60		
5	(2) 示された情報を基に、セット券を使ったときの代金を考えることができる	○		○		○		○		17.0		11.7	40	○	

集計結果

※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
県	7,437	57.0	4.3	47.1	

※ 県の結果には、「未履修：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
			県	県	県	県		
学習指導要領の 内容・領域等	数と計算	7	54.0		7.2		45.7	
	図形	4	47.1		2.4		40.0	
	変化と関係	5	51.1		5.2		42.0	
	データの活用	5	64.9		3.4		54.0	
評価の観点	知識・技能	9	63.2		3.7		51.1	
	思考・判断・表現	8	49.9		5.1		42.5	
問題形式	選択式	5	50.8		0.7		46.0	
	短答式	8	65.4		5.1		51.3	
	記述式	4	47.8		7.3		40.0	

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等				評価の観点		問題形式			正答率		無解答率		期待正答率 (おおむね達成)	課題が見られる設問
		数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	県	県				
1	(1)	折れ線グラフを読み取ることができる			○		○		○			87.4		0.1	70	
1	(2)	示された情報から気温の変化を読み取り、それを根拠に、気温が上がり続けたとは言えない理由を説明することができる			○		○		○			79.3		1.4	60	
1	(3)	示された情報を基に、数量の関係を捉え、天気「晴れ時々曇り」になることについて説明することができる	○		○		○		○			33.2		7.0	40	○
2	(1)	速さと道のりから、時間を求めることができる			○		○		○			83.9		1.7	50	
2	(2)	示された情報から、比較量を求める場面と捉え、基準量と割合から割引後の代金を求めることができる			○		○		○			41.0		4.7	40	
2	(3)	示された情報を基に、宅配便の料金を説明することができる	○		○		○		○			43.6		14.1	30	
3	(1)	示された情報を基に、日本全国を走った道のりを考えることができる	○				○		○			52.7		0.5	50	
3	(2)	棒グラフから事象の傾向を読み取ることができる			○		○		○			48.0		0.3	50	○
3	(3)	2021年の参加選手数が1964年の参加選手数の何倍かを読み取ることができる	○		○		○		○			66.1		0.9	60	
3	(4) 線対称	線対称な図形の特徴を理解している			○		○		○			65.8		0.5	40	
3	(4) 点対称	点対称な図形の特徴を理解している			○		○		○			46.6		0.6	40	
4	(1)	基準量と割合から比較量を求めることができる			○		○		○			62.2		5.4	50	
4	(2)	円の半径を2倍にすると、円の面積は何倍になるのかを考えることができる			○		○		○			41.0		1.7	50	○
4	(3)	比の性質を利用して全体の量を求め、円柱の容器に入ることを説明することができる			○	○	○		○			35.1		6.9	30	
5	(1)	示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選んで、計算しやすい式にして計算できる	○				○		○			73.2		4.6	40	

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率（おおむね達成）	課題が見られる設問
		数と計算	図形	変化と関係	データの活用		知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式	県		県			
5	(2)	分数の除法の計算の意味を理解している		○					○				57.1		13.0	50		
5	(3)	示された場面において、分数の除法の答えの求め方を理解している		○					○				52.0		10.4	50		